

KYUSHU BUSINESS FORECAST

2016年度九州経済の見通し

投資回復で全国を上回る 1.8%成長

調査研究部

1. 域内総生産：全国を上回る1.8%成長

2016年度成長率は1.8%

当会では、2015年12月25日に九州（沖縄県含む、以下同様）経済の見通しを発表した。2016年度域内総生産実質成長率は前年度比+1.8%と見込まれる（表1）。この率は全国の間接予測（シンクタンク10社平均：同+1.5%）や政府見通し（同+1.7%）を上回るものである。

2016年度の経済成長を牽引するのは、実質賃金の上昇に伴って増加が見込まれる民間消費と、製造業による設備投資である（図1）。また、原子力発電所が再稼働したことによる燃料輸入量の減少や、引き続き好調が見込まれるインバウンド需要が域外との財・サービスの収支改善要因となる。モノの輸出についても、中国経済の減速など懸念材料があるものの、底堅く推移すると見込んでいる。したがって、純移輸出も成長率を押し上げるだろう。

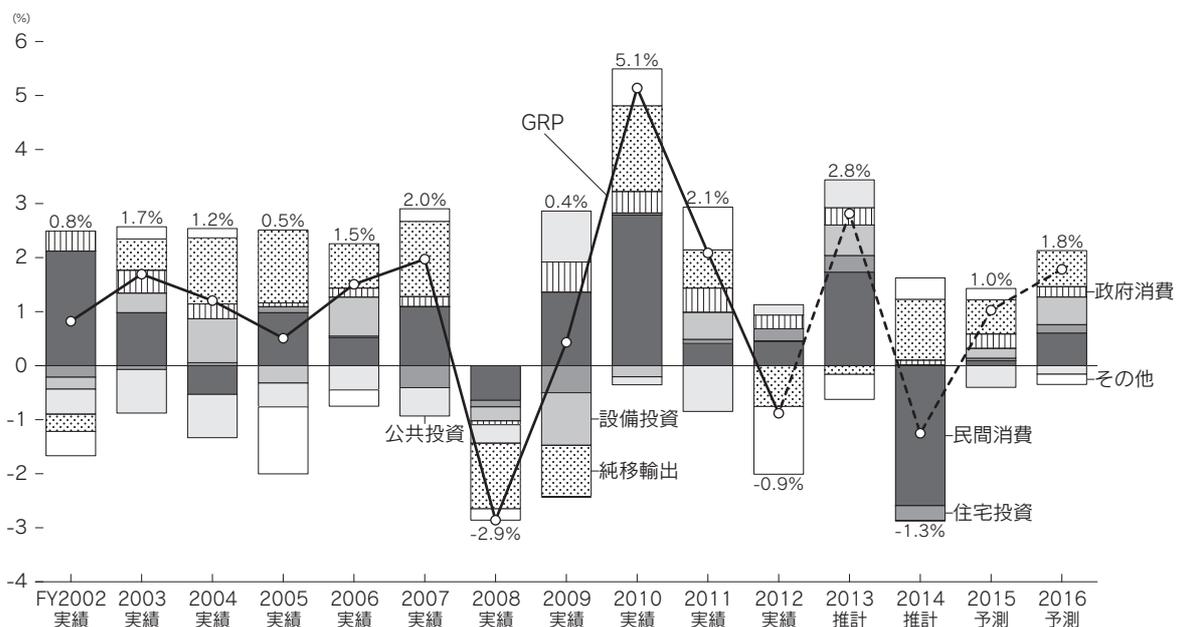
表1 2016年度九州経済見通し（実質、前年度比）

(単位：％、%pt)

年 度	2012	2013	2014	2015(予測)		2016	
	(実績)	(推計)	(推計)	前回	改訂	(予測)	
九州・沖縄	域内総生産(固定基準年方式)	△ 0.9	2.8 △ 1.3	1.1	1.0	1.8	
	民間消費	0.7	2.8 △ 4.1	0.3	0.2	1.0	
	民間住宅投資	10.5	12.9 △ 10.3	2.0	2.0	6.5	
	民間企業設備投資	0.0	4.8	0.1	1.5	1.5	4.2
	政府消費	1.1	1.4	0.4	0.9	1.1	0.8
	公共投資	4.2	10.8 △ 0.3	△ 8.0	△ 7.7	△ 3.3	
	純移輸出(寄与度)	△ 0.8	△ 0.2	1.1	0.7	0.6	0.7
鉱工業生産指数(九州7県)	△ 3.4	1.4	0.8	2.9	2.9	3.0	
全 国	国内総生産(連鎖方式)	0.9	2.0 △ 1.0	1.2	1.1	1.5	
	民間消費	1.7	2.3 △ 2.9	0.5	0.4	1.7	
	民間住宅投資	5.7	8.8 △ 11.7	3.3	3.4	5.0	
	民間企業設備投資	0.9	3.0	0.1	3.9	1.7	3.9
	政府消費	1.5	1.6	0.1	1.1	1.2	0.9
	公共投資	1.0	10.3 △ 2.6	△ 0.4	△ 0.5	△ 1.6	
	純輸出(寄与度)	△ 0.7	△ 0.2	0.8	△ 0.1	0.0	△ 0.1
鉱工業生産指数	△ 2.9	3.2 △ 0.4	1.1	△ 0.4	3.1		

注) 1. 2005年基準
 2. 網掛け箇所は実績値、その他は推計・予測値
 3. 2015・16年度の国内総生産は民間シンクタンク10社の予測値平均(2015年7～9月期2次QE後改定値)
 4. 2015年度の前回予測は2015年9月25日発表の改訂値

図1 実質成長率の需要項目別寄与度（九州、前年度比）



資料) 内閣府「県民経済計算」、九経調推計・予測